

給与支払報告書 特別徴収に係る給与所得者異動届出書 (普通徴収記載例)

※市町村処理欄	1. 現年度	2. 新年度	3. 両年度
特別徴収義務者 指定番号	12345		※市町村ごとに異なります
宛名番号	1		
連絡先の氏名及び 所属課、係名並び に電話番号	課・係	人事課人事労務係	
	氏名	特徴 花子	
	電話	000-000-0000 (内線 123)	
異動の事由	1. 退職	異動後の未徴収 税額の徴収	退職した年の1 月から退職時ま での給与支払額
	2. 転勤 3. 合併 4. 休職 5. 長期欠勤 6. 死亡 7. 会社解散 8. 住所誤報 9. その他 (特別徴収不可)	1. 特別徴収継続 2. 一括徴収 (1月以降は必須) 月分で納入 (月 日納期分) 3. 普通徴収 理由 異動の事由のとおり	1,200,000 控除社会 保険料額 60,000
※「9. その他(特別徴収不可)」を選択された場合は、次のいずれかの理由を必ず選択してください。			
1 (普B)	他の事業所で特別徴収 (例: 乙欄適用者)		
2 (普C)	給与が少なく税額が引けない (例: 年間の給与支給額が93万円以下)		
3 (普D)	給与の支払が不定期 (例: 給与の支払が毎月でない)		
4 (普E)	事業専従者 (個人事業主のみ対象)		

◎異動があった場合は、速やかに提出してください。

令和××年○○月△△日提出 渋川 市長 様 (特別徴収義務者) 給与支払者		住所(居所)又は所在地 〒012-3456 ○○県××市△△1-2-3	フリガナ カブシキガイシャ マルバツショウジ	氏名又は名称 株式会社 ○×商事	代表者の職氏名印 代表取締役 特徴 太郎 (代印)	個人番号又は法人番号 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1
給与所得者		(ア) 特別徴収税額(年税額)	(イ) 徴収済額	(ウ) 未徴収税額(ア)-(イ)	異動年月日	
受給者番号(整理番号)	フリガナ	トクチョウ	イテロウ			
123456	氏名	特徴 一郎 (旧姓)		円	××・8・31	
生年月日	昭和×平成 50年1月1日		円	6月	9月	
個人番号	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	円	円	8月	5月	
1月1日現在の住所	○○県××市△△3-2-1		140,000	35,600	104,400	
給与の支払を受けなくなった後の住所						

◎給与の支払を受けなくなった後の月割額(未徴収税額)を一括徴収する場合は、記載してください。

一括徴収の理由	徴収予定月	相対人の氏名等
1. 異動が 年 12月 31日 までで、申出があったため (月 日申出)	・	
2. 異動が 年 1月 1日 以後で、特別徴収の継続の希望がないため	・	
異動者印		

8月末で退職した給与所得者の徴収方法を、9月分から普通徴収に変更する場合。
 (ア) 特別徴収税額(年税額) 140,000円(6月から翌年5月分)
 (イ) 徴収済額 35,600円(6月から8月分)

◎転勤(転職)等による特別徴収届出書

新しい勤務先の特別徴収義務者指定番号 (※新規事業所の場合は記入不要です。)	課・係	新しい勤務先では 月割額 円を
新しい勤務先の住所(居所)又は所在地 〒	氏名	月分
フリガナ	電話	から徴収し、納入します。
氏名又は名称		新規の場合は、いずれかを○で囲んでください。
個人番号又は法人番号		納入書 要・不要
代表者の職氏名印 (印)		

【提出先】 〒377-8501 渋川市石原80番地 渋川市役所総務部税務課市民税係

御注意
 1. 黒のボールペン又はペンで記載してください。
 2. 転勤(転職)等による特別徴収届出書に記載された宛名番号を記載してください。
 3. 前勤務先が個人事業主の場合、「給与所得者」の欄の「個人番号」は、前勤務先では記載せず、新勤務先へ送付願います。
 4. 新勤務先では最下段の事項を記載し、一月一日現在の住所(課税地)の市町村長に送付してください。一括徴収することが義務づけられています。
 5. 一月一日から四月三十日までの間に退職した人に未徴収税額がある場合には、一括徴収することが義務づけられています。